

本市への移住者を対象とした座談会の概要について

- 1 目的：市外から転入し、本市で生活している市民を男女別に集め、本市に移住した理由やもっと多くの人々が本市に移住するための提案等について、座談会形式で参加者の本音や考えを聞き出すことを目的とする。
- 2 開催日時：平成 27 年 7 月 11 日（土）
女性 13 時から 14 時 30 分まで
男性 15 時から 16 時 30 分まで
- 3 会場：womo カウンター（静岡市葵区追手町 3-11 静岡信用日生ビル 3 階）
- 4 対象：市外から本市に移住した市民（20 代から 40 代） 男女 6 名ずつ

5 内容

【女性】

（1）静岡市に移住した理由

【主な意見】

- 夫の転勤。
- 結婚した相手が静岡市に住んでいたため、仕事を退職し、移住した。

（2）移住先が静岡市と聞いた時の印象

【主な意見】

- ある程度、都会のイメージがあっただけうれしかった。
- 東京や大阪の大都市と比べ、馴染みやすいと思った。
- 実家から遠くなるので心配だった。
- 実家が静岡市だったので心配はなかった。ただ、住んでいた名古屋市に比べると、交通手段が充実していない、また、バリアフリーも進んでいないので、生活が不便になると思った。
- 新幹線が通るくらいしか知らなかった。住んでいた大阪と比べ、買い物する場所が少なく、ショックだった。

（3）静岡市に住んでみた感想

【主な意見】

- 公園が充実している。
- 食材が豊富。
- のんびりしているので、落ち着いて生活できる。

- 気候が温暖で安定している。
- 自然の中で遊ぶことができる。
- お金のかからない遊びが充実している。
- 保育園の入園金が安かった。
- 子供を育てやすい。
- 保育士のレベルが高い。
- 病児保育があり、助かる。
- 大都市へアクセスしやすい。
- サッカーについて、幼稚園の時からプロの選手に教えてもらうことができるのはすごい。
- 休日の過ごし方がわからない。みんな、どこで遊んでいるのか、不明。
- 移動手段として、バスがあるが、本数が少ない。
- 目的地まで、バスをどうやって乗り継いでいけばいいのか、わからない。
- 車がないと生活できない。
- ほしいものが、どこで売っているのか、わからない。聞く人もいない。
- 転入してきた時に渡される資料だけでは、情報が足りない。
- 大学が少ない。子供の将来を考えると、選択肢の多い、首都圏の大学に進学させたい。
- 大学の選択肢が少ないので、永住を考えるのは、難しい。
- 小学校、中学校、高校、大学等の受験を考えたとき、いつから何をすればいいのかわからない。情報量で、大都市との差がある。
- 子供の習い事や塾の数が少ない。需要がないのか。教育のレベルが心配。
- 競争心がないので、住んでいて刺激が少ない。
- 雨の時に遊ぶところが少ない。
- 子育てはしやすいが、独身には、物足りない。

(4) もっと多くの方が静岡市に移住してもらうための提案

【主な意見】

- お肉フェア等、魅力的なイベントを増やしてほしい。
- 車以外の移動手段（バス）を便利にしてほしい。特に、乗り継ぎ。
- ほしい情報を求めやすい環境を整備してほしい。例えば、相談できる人が身近にほしい。
- 子どもの習い事の充実、受験対策強化、大学を増やす等、教育水準を高めてほしい。

【男性】

(1) 静岡市に移住した理由

【主な意見】

- サッカーが好きで、配属先として希望。
- 実家から通勤するより住んだほうが楽だった。
- 地元から近く、海があるところを、配属先として希望。
- 大学時代に静岡市に住んでいた。川越市で就職していたが、仕事が嫌になり、転職を考えたとき、大学に相談した。知り合いも多かった。
- 最初は、義理の父と東京で、一緒に働いていた。義理の父が脱サラし、静岡市で自営業をすることになった。声を掛けられ、また、当時の仕事（マスコミ）を続けるか悩んでいた時だったので、妻と相談した結果、仕事をやめ、静岡市へ移住することになった。
- 家族との生活を大切にしたいだったので、転職を考えていた。また、住むところは、海の近くにしたい。妻の実家が静岡市だったので、就職先を探し、候補が見つかったので、移住した。

(2) 移住先が静岡市と聞いた時の印象

【主な意見】

- 新幹線が通っているのので、実家に帰りやすく、安心した。
- 気候が温暖で、富士山も見える。過ごしやすかった。
- 東京で疲れていた。山、海があるところで暮らせるので、ほっとした。
- 田舎のイメージがあった。買い物で不便になると思った。

(3) 静岡市に住んでみた感想

【主な意見】

- 水がおいしい。
- シラス、サクラエビ等、食材が新鮮で豊富。
- 夏の夜にクーラーがいらぬ。
- お金のかからない遊びが充実している。
- 商業施設が集積して、生活しやすい。
- バスの本数が多い。
- 静岡市は、県の中心に位置しているのので、県内の移動を考えたとき、移動しやすい。
- 遊ぶバリエーションが少ない。静岡市は、買い物するだけ。遊びは、市外に行くことが多い。
- 遊びはあきらめた。
- 東京に比べ、歩くことが少ない。どんなに近くても、移動は、車がほとんど。

- 家賃が思ったほど、安くない。まちのレベルを考えたら、もう少し安いはず。
- 教育熱心な人が多すぎ。もう少し、子どもをおおらかに育てられるようにすべき。子どもの学力に応じた、塾の数が少ないので、ここがだめならあそこに行けばいい、と言えない。落ちこぼれても大丈夫という雰囲気がない。
- 子育て世代には、生活しやすいまちだが、独身には、まちの刺激として物足りないと思う。
- 大学の選択肢が少ない。地元（京都）では、大学の質も数も充実していて、実家から通う学生がほとんど。今後、市外の大学に子どもが行きたい、独り暮らしをしたいと言ったら、家賃や生活費をどうするのか。とても心配。
- 保守的な人が多い。関西弁を受け入れてくれない。
- 住むのはいいが、東海地震が怖い。
- 東京に比べ、コミュニティのエリアが広い。親の介護が必要になった時、在宅介護するには、医療や介護施設等の関係機関が離れすぎている。東京は徒歩圏にすべてそろっている。今後も住みたいけど、親の介護を考えると、住み続けられるか不明。
- 保育園に入りにくい。

(4) もっと多くの人が静岡市に移住してもらうための提案

【主な意見】

- 地域のコミュニティエリアを小さくして、介護しやすい環境を整備してほしい。
- 静岡市は、都会過ぎず、田舎過ぎず、総じて良いところ、また、水が美味しいことをもっとPRすべき。
- 市内大学のバリエーション（数、学部等）を充実してほしい。
- 夜、まちなかに屋台が並ぶなど、独身世帯が楽しめるようにしてほしい。